

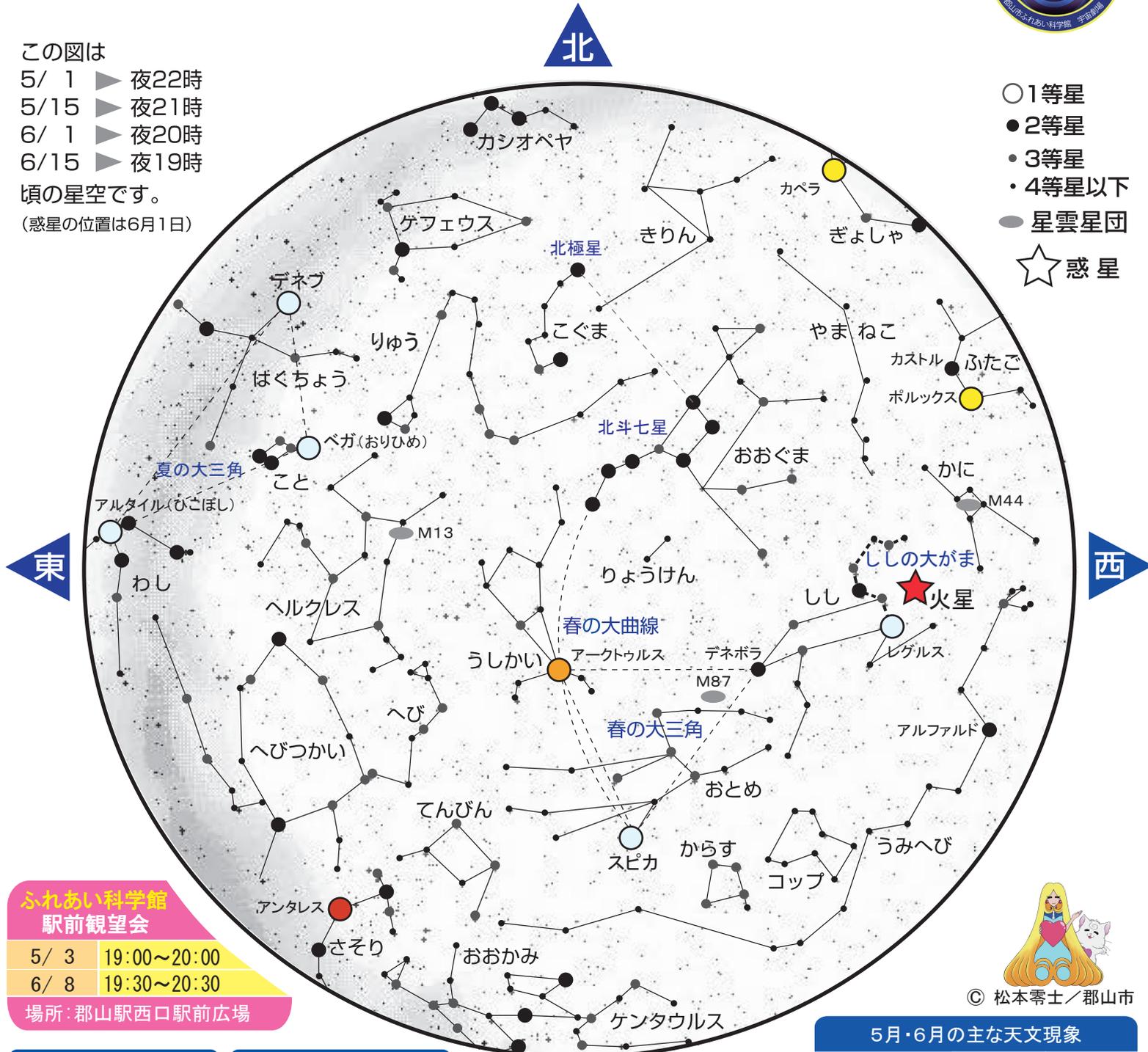
2025年

# 5月 ▶ 6月の星空



この図は  
 5/ 1 ▶ 夜22時  
 5/15 ▶ 夜21時  
 6/ 1 ▶ 夜20時  
 6/15 ▶ 夜19時  
 頃の星空です。  
 (惑星の位置は6月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆ 惑星



ふれあい科学館  
駅前観望会

5/ 3 19:00~20:00

6/ 8 19:30~20:30

場所: 郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

郡山の日の出・日の入		
5/ 1	4:41	18:31
5/15	4:27	18:44
6/ 1	4:16	18:57
6/15	4:14	19:04

月の満ち欠け		
新月	5/27,	6/25
上弦	5/ 4,	6/ 3
満月	5/13,	6/11
下弦	5/20,	6/19

※上弦、下弦は半月です。



星図ダウンロードはこちらから

5月・6月の主な天文現象	
5/ 6	みずがめ座 $\eta$ 流星群が極大
5/ 7	土星の環の消失
6/ 1	金星が西方最大離角
6/21	夏至

春の星座が主役となるこの時季、南の空で輝く2つの1等星を探してみましょう。オレンジ色に輝くのはうしかい座の「アークトゥルス」、白く輝くのはおとめ座の「スピカ」です。その2つとしし座のしっぽの星「デネボラ」を結び「春の三大角」を描くことができます。しし座の心臓には1等星の「レグルス」が輝き、この6月はその近くに火星が見えています。惑星は惑う星と書くように、空の中を惑うように動きます。冬の頃はふたご座で「カストル」「ポルックス」とまるで三つ子のように火星が並んでいましたが、5月にはかに座、6月にはしし座へと少しずつ場所が移ります。みなさんが空を見上げたときはどの星座の近くにいるのでしょうか。赤い姿の火星とそこにいる星座との共演をお楽しみください。

3月中旬まで夕方空に見えていた金星は、明け方の東の空で見えるようになりました。同じく明け方の空に見える土星は、約15年ごとに環が消えたように見える「土星の環の消失」が起こります。今年が環の消失にあたる年で、2回消失のタイミングがあります。1回目は3月24日で、地球から環を真横から見ることで起こる消失でした。2回目は5月7日です。このときは太陽の光が環の真横から当たることで起こる消失となります。消失した姿の観察は望遠鏡が必要となりますが、その頃は土星と金星が並んでいますので肉眼では2つの惑星が並ぶ姿を明け方の東の空でお楽しみください。

